

最終 12月 共通テスト本番レベル模試

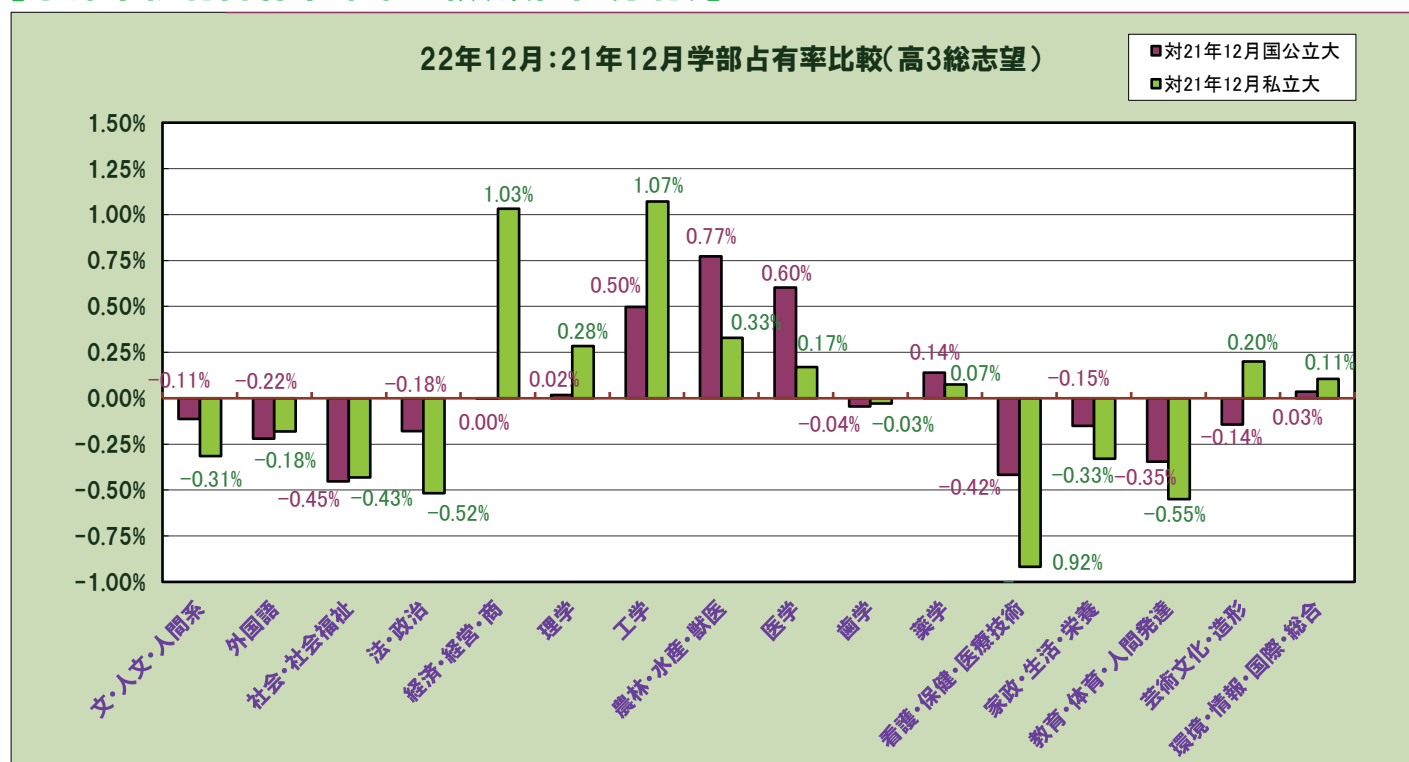
受験シーズン、間もなく到来！ 勉強・体調共にコンディションを整えよう!!

12月11日（日）に実施した「最終 12月 共通テスト本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期の高3生の志望動向と比較した。

実施3回目となる「大学入学共通テスト」まであと1ヶ月弱。最終的な仕上げの段階となってきた。

新型コロナウイルス感染症第8波の最中での受験シーズンとなることで不安もあると思うが、各大学救済のための対策は講じているので、万が一の時でも慌てずに志望大学のホームページを確認して対応しよう！

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	98	98	99
外国語	82	91	89
社会・社会福祉	80	93	92
法・政治	97	94	96
経済・経営・商	100	105	105
理学	100	106	102
工学	102	106	103
農林・水産・獣医	114	116	113
医学	108	111	106
歯学	93	84	88
薬学	105	103	104
看護・保健・医療技術	94	83	88
家政・生活・栄養	85	80	80
教育・体育・人間発達	96	89	92
芸術文化・造形	81	115	108
環境・情報・国際・総合	101	102	101

■国公立大

2022年度入試に引き続き農林・水産・獣医系、医学系、薬学系、理学と工学の中でも情報系といった理系分野に人気が集まっている。文系では経済・経営・商学系の人気回復傾向にある。一方で外国語系や環境・情報・国際・総合系の国際関係学の人気に復調傾向はまだ見られない。

■私立大

全体的な傾向としては、引き続き国公立大学とほぼ同様に理高文低の傾向となっている。実際の出願においてもこの傾向に大きな変動はないと思われる。

※このデータは、2022年と2021年の「最終 12月 共通テスト本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の高3生・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。